

# 短期認定留学 体験談

派遣先：クライストチャーチ工科大学（ニュージーランド）  
商学部ホスピタリティ・マネジメント学科 堤田海月

私は2020年2月から3月の約1か月間、ニュージーランドのクライストチャーチ工科大学に留学しました。私がまず言いたいのは、「今このレポートを読んでいるその君、留学に行くか行かないか迷っているなら絶対行ったほうがいいよ！」この一言です。

その理由も含め、私が留学したいと思った動機、留学への準備やニュージーランドでの過ごし方、そこで何を心得て自分がどう変わったかをまとめたいと思います。



まず初めに私が留学したいと思ったきっかけについてです。簡潔に言うと、それは「後悔しないため」でした。このニュージーランドでの留学は私にとって初めての海外経験であり、初めての大きな挑戦でした。小中高部活漬け、まともに自分の時間がなく大学に入るまで自分のやりたいことが何一つできなかった私は大学に入ったら絶対に留学に行く決めていました。大学生となり、自分を縛るものは何もない状態になった時、自分のために時間を使おう、今まで自分がしたかったこと、やりたいと思ったことを悔いのないようにやってやろうという強い気持ちが芽生えました。留学もそのうちの一つでした。

中学生の頃から英語が好きで英語を話せるようになることにずっと憧れをもっており、海外留学は私の夢でした。大学入学後はイングリッシュラウンジで留学生と交流したり、寮に遊びに行ったり一緒に映画を見に行ったりしました。大学生になって英語を話す機会がたくさん増え、それと同時にもっと話せるようになりたい、英語漬けの環境に行ってみたいという思いも強くなっていきました。スピーキング力を伸ばすため、自分の視野を広げるためにも私はこのニュージーランド留学を決意しました。行かないと絶対後悔すると思いました。これが私の動機です。

次に留学前の準備についてです。留学を終えて思うことは、日焼け止めは必需品、そして絶対に長袖、羽織るものを多めに持って行ってください。ニュージーランドの気候は夏ですが、日本の3月の気温と変わりありません。週2、3日真夏日なだけで他ははっきり言って寒いです。真夏日といっても日差しが強いだけで乾燥しているのであまり汗はかかないと思います。雨もあまり降らないので、ニュージーランドの気候は過ごしやすいと思いました。空も星もとても綺麗です。

誰もが気になる食事ですが、安心してください。とっても美味しいです。茹で野菜とお肉がだいたいメインです。私は日本からカレールーやお好み焼き粉などを持参したので、ホストマザーと近所のおばあちゃんに日本料理をふるまってあげました。かなり好評だったので何か持参して日本食を作ってあげるのはとてもお勧めです。



渡航する前英語について私は日本文化や自分の地元の良さなどを英語で詳しく説明できるようにしていました。これはホストファミリーとの会話だけでなく、学校での授業や道端で話しかけられた時などにも使えるので考えて損はないと思います。また中学英語でいいので復習しておいてください。日常会話ができるようになっておくことがベストだと思います。

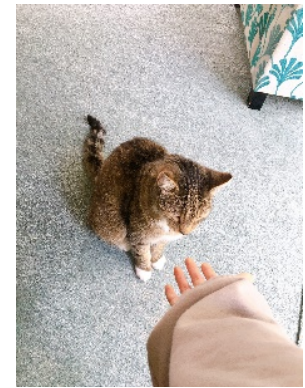
そして早めに準備しておくべきことは海外対応のクレジットカードを作ることです。クレジットカードが出来るまで手続き開始から1か月ちょっとかかるので、まだ持っていない方は早めに作っておいた方が安心だと思います。



次にニュージーランドでの生活や学校についてです。

私は、1人暮らしの美人でとても優しいホストマザーと猫が1匹いる可愛い一軒家にホームステイしました。近所のおばあちゃんともよく三人でご飯を食べたり出かけたりしていました。

ニュージーランドでの生活で私が一番驚いたことはお湯の使用についてです。シャワーを使う時間は5分までと決められていました。ニュージーランドでは一日に使えるお湯の量が決まっており、シャワーの場合は誰かがお湯を使いすぎると次に使う人のお湯の温度はぬるくなってしまうそうです。洗濯は週に1、2回です。家庭によっては1回だけのところもあったのでそこはきちんと聞いて確認したほうが良いです。ニュージーランドのテレビのチャンネルは面白いものがたくさんあります！ご飯を食べた後、よくみんなでテレビを見ていました。そして早寝早起きの規則正しい生活を送るので健康になります。



学校へはバスで登校していました。ニュージーランドでの交通手段はほとんどバスです。(ニュージーランドではバスから降りるとき Thank you というルールがあります) 学校は朝9:00~15:00まで、午前中と午後で2コマの授業を受けます。学校に登校する一番初めの日に英作文とパソコンでの英文法のテスト、先生との面談があり、その結果でクラスの割り振りが決められました。私は25人程度の Intermediate クラスで6割日本人、4割がタイ人や韓国人、中国人でした。

最初の1週間はずっと落ち込んでいました。なんで自分はこんなに話せないんだろうとずっとうじうじしていました。相手の言っていることはちゃんと分かるのに自分の言いたいことをうまく表現できないことに、とても悩まされました。しかしそのことをホストマザーと近所のおばあちゃんに話すと「それは何も問題ないよ。全然そんなことないし、今あなた話せているじゃない！あなたの英語はとても上手よ」と言ってくれたことがきっかけで私の中で何かが変わりました。そこからとにかく口に出そう、話そうと思うようになりました。そして自分の中のルールとして毎日夜最低2時間は英文法の勉強をすると決めました。ホストマザーと話すために、自分の部屋にはできるだけ行かずリビングで過ごしていました。ネットショッピングでお洋服を一緒に選んだりお互いの文化について話したり、毎日とても楽しかったです。夜は高校の時に使っていた参考





書と単語の復習、そして復習した単語で英文を作って、よくホストマザーに添削してもらっていました。単語を覚えることより使えるようにするのが難しいので、英作文を書いたりや英文を作るのはお勧めです。やっていくうちに授業でのディスカッションでも自分の言いたいことが言えるようになっていきます。学校の友達はみんな面白い人ばかりで話すのがとても楽しかったです。

学校帰りは町を散歩したりよくジェラートを食べに行ったりしました。ニュージーランドのジェラートとアイスクリームはとっても美味しいです。毎日と言っていいほど食べていました。休日は一日中家にいるのは勿体ないので、何もなくてもとりあえず友だちとバスエクスチェンジに集合してショッピングをしたり、色んなところへ行ったりしました。学校では温泉プールやカヌーに乗れるアクティビティが用意してあるので参加するのもお勧めです。

私がニュージーランドで過ごして一番心に残った言葉があります。ニュージーランドで過ごす最後の日曜日の夜、ホストマザーと近所のおばあちゃんと三人で素敵なレストランに行った時、近所のおばあちゃん（93歳）が「良い友だちと温かい人々、素敵な音楽と素敵なお洋服があればお金がなくなっても人生楽しいよ。あとは自分がしたいと思ったことは全部やりなさい。」この言葉でした。すごく心に響きました。すごく素敵で重みのある言葉だと思いました。私は後悔のないように生きようと思いました。私はこのニュージーランド留学をして本当に良かったと思いました。「英語がもっと話せたらもっと面白いこと、楽しいことが待っているんだろうな」と心から思いました。一度英語しか通じない環境で生活したことは明らかに自分の糧になったと感じています。自分以外は全員外国人、その中で一人でバスでどこかへ行ったり買い物をしたり、それを考えると何でもできそうな気がしました。ニュージーランドに限らずですが、みんなが性別に関係なく、自分の好きなファッションをして周りの目を全然気にしていないこともとても刺激になりました。現地の人はとても優しくフレンドリーな方ばかりでした。しかし同時に街の方に行くとホームレスの方もよく見かけ自分の無力さを感じました。



私がこのニュージーランドで得た一番大きいものは「自信」です。英語しか通じない外国で生活したことでかけがえのない人生経験になったし、何をしてもニュージーランドで一か月不自由なく生活できていたのだから大丈夫と大きな自信に繋がりました。そしてもっともっと英語を話せるようになりたいと思いました。たくさんの優しい現地の方に支えられて、この一か月が充実したものになりました。



私は一冊のノートを買って出発前日から毎日日記をつけていました。あとで読み返すと自分の気持ちの変化や日々あったことを懐かしく感じてとても面白いので日記はつけた方がいいと思います。行く前はとても不安で、ホストマザーと仲良くなれるか、学校で友達出来るか、ちゃんと生活できるかと、心配しかしていませんでしたが、大丈夫でした。全然大丈夫でした。本当に楽しかったです。充実していて濃い毎日でした。行こうか悩んでいるなら絶対に行くべきです。

“This day will never happen again, do what you want with it!” この言葉を大切にしています。



